

## 岩手県金融経済概況（2021年3月）

### 1. 概況

県内経済は、引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している。もっとも、足もとはサービス消費を中心に新型コロナウイルス感染症再拡大の影響の強まりを指摘する声が聞かれている。

最終需要の動きをみると、公共投資は、減少に転じつつある。設備投資は、一部の業種に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。個人消費は、持ち直しの動きが一服している。住宅投資は、減少ペースが緩和している。

この間、生産は、増加傾向にある。雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、財消費が総じてみれば堅調である一方、サービス消費は引き続き厳しい状態にあり、持ち直しの動きが一服している。

百貨店売上高（全店舗ベース；2021年3月）は、5ヵ月振りに前年を上回った（前年比+11.5%）。

スーパー売上高（全店舗ベース；2021年3月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+0.5%）。

新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞；2021年3月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比+6.8%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に引き続き厳しい状態にあり、足もとは新型コロナウイルス感染症の影響の強まりを指摘する声が聞かれている。

#### (2) 建設投資（公共投資、住宅投資、設備投資）

公共工事請負金額（2021年3月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△83.5%）。

新設住宅着工戸数（2021年2月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+5.0%）。

—— 持家（前年比+6.6%）は2ヵ月連続で前年を上回った。貸家（同△4.6%）は6ヵ月連続で前年を下回った。分譲（同+29.4%）は2ヵ月連続で前年を上回った。

民間設備投資（2021年3月短観ベース；2021年度計画）は、前年を上回る計画（前年比+30.4%）となっている。

—— 製造業（前年比+44.5%）では、前年度から先送りされた投資案件の実行や、半導体関連の能増投資等により、前年度比増加する計画となっているほか、非製造業（同+13.8%）についても、老朽化した設備の維持更新等の案件により増加する計画となっている。

県内の官民建設工事全体の出来高総計（2021年2月）は、20ヵ月振りに前年を上回った（前年比+6.6%）。

### 3. 生産動向

生産は、増加傾向にある。

鉱工業生産指数（季節調整値；2021年2月）は、3ヵ月振りに前月を下回った（前月比△6.0%）。

—— 主な業種の動きをみると、電子部品・デバイス、はん用機械、窯業・土石製品が上昇した一方、生産用機械、食料品、輸送機械が低下した。

なお、四半期の動きをみると、2020/10～12月は2期連続で前期を上回った（2020/1～3月：前期比△5.9%、4～6月：同△10.7%、7～9月：同+1.2%、10～12月：同+11.1%）。

### 4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、弱い動きが続いている。

有効求人倍率（季節調整値；2021年3月）は、1.15倍と前月を上回った（2021年2月：1.12倍）。

雇用保険被保険者数（民間企業中心の全数調査；2021年3月）は、15ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.9%）。

雇用者所得（県内合計値；2021年1月）は、常用雇用指数（前年比△0.1%）が前年を下回ったほか、名目賃金指数（同△6.4%）も前年を下回ったことから、7ヵ月連続で前年を下回った（同△6.5%）。

## 5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品；2021年3月）は、9ヵ月連続で前年を下回った（前年比△0.1%）。

内訳をみると、住居、諸雑費などが上昇した一方、光熱・水道、教育、交通・通信などが下落した。

## 6. 企業倒産

企業倒産（2021年3月）は、4件、183百万円となり、件数、負債金額とも前年を下回った（前年同月；7件、1,032百万円）。

## 7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2021年2月）については、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2021年2月）は前月に比べて低下した。

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

